

短期ビジネス講座2015

地元のビジネススクールを体験してみませんか： 経営学ルネッサンス

福井県立大学大学院経済・経営学研究科長 徳前 元信



地元の大学院で自分自身を問い直してみませんか。トップマネジメントはもちろん、生産現場での人づくりや新たに部下を持った人々も参加してみませんか。

この講座の特徴は、社会や地域の皆さんが受講しやすいように工夫されています。

第一に、講師陣の顔ぶれです。本学の教員はもちろん、学外の専門家、第一線の経営管理者など多彩な講師陣をお願いしました。多彩な講師陣が魅力的な講座を提供してくれるはずですよ。

第二に、本講座では、座学を超える授業効果を目指します。受講数を限定させていただき、より実践的な講義といたします。例えば、基調講義の後、グループでディスカッションを行い、その成果を報告してもらうワークショップ型の授業運営を行います。また少人数でグループワークを行う講義も予定しています。

第三には、土曜日に開催することにいたしました。これは平日に時間を取りにくい、社会人の方々に配慮した結果です。加えて、開講期間中に、受講者間の異業種・異世代のネットワーク作りの場になるように、交流会も予定しています。

第四には、本講座は特に履修条件・予備知識を設けていません。経営学を学ぶ意欲がある方を歓迎します。最終日には「修了証書」をお渡しします。その時には、きっと、マネジメント能力が高まっていることと思います。

なお、本大学院では、県・市町村や企業職員の社会人教育に重きをおき、経営学の理論を踏まえた実践的な問題解決能力を身につけることを目的の一つとしています。短期ビジネス講座をきっかけに、さらに専門的な知識や技術を深めたい方は福井県立大学大学院にもいらしてください。

過去の履修者の声

- ◆ 来年度の履修者の方に、「他の企業の人との討論はためになるので、いろいろな考え方を吸収するように。」
- ◆ 人材育成がテーマで、いかに部下を育てるのか、という観点から受講したが、自分自身が成長するためにはどうすればいいのか？という視点に変わっていた。
- ◆ どれほど社長さんが熱い思いを持っていたとしても、結局は他人が動かなければ何も組織は変わらないのが現実。何事も飛び込んで体験することは非常に大事であり、その体験はシナプスを伸ばすと私は信じています。職業を問わず、まずは一度体験することをお勧めいたします。
- ◆ 経営学・経済学とは縁がなく、入りにくいかと心配したが、受講が進む中で一員となっており、自分でも驚いています。この体験の中で私の向う方向がわかったような気がします。不得意分野だからこそ新鮮に感じ、何かヒントがないものか注意深く聞き、体験、体感し、繋げられる感覚を習えたように思います。今後の仕事に活かして成功させていきたいです。
- ◆ この短期ビジネス講座で職業人として探しているものの答えはおそらく見つかりません。しかし、それを探す手段についてのヒントを、様々な先生方の一言一句を聞き逃さなければ「学ぶ」又は「教わる」というスキルを向上させることで得ることができます。
- ◆ これまでの自分の仕事のプロフィールをグループ内で発表し、特に自分が成長させられた時期にフォーカスして説明するというのは、自分でも新たな気付きと確信のようなものが意識できました。
- ◆ 50歳を過ぎたら自分の背中を人に見せられるか。
- ◆ 自分から求めなければ、職場以外の人との交流は限られます。この講座では様々な会社、年齢層の方とも交流ができ、同じような思い、あるいは違いに触れることができ、大変良い刺激になりました。

福井県立大学ビジネススクール 短期ビジネス講座 2015 募集要項

地域の企業、地域の抱える問題を解決できる人材育成を目指して

開講期間：10月24日(土)～12月19日(土) 13:30～18:00

場 所：福井県立大学福井キャンパス 経済学部棟 E-207教室 全6日(土曜日開催)

企画コーディネーター：福井県立大学経済学部教授 北島 啓嗣
福井県立大学経済学部准教授 松下 元則

講 師：福井県立大学教員、学外専門家および実務家など
※講座内容は、講師の都合で変更となる場合があります。

定 員：25名程度(原則先着順) 受 講 料：29,600円

短期ビジネス講座2015

地域の企業、地域の抱える問題を解決できる人材育成を目指して

講座内容

現代の社会は変化が激しく、常に知識や考え方をアップデートして行かねばなりません。マネジメントの視点から自らの業務を見直し、理論に基づいた論理的な思考能力、先進的な事例を学ぶことによる判断力向上を目指した講座です。講義形式だけではなく、ケーススタディ、ディスカッションを交えた主体的な学びにより、プレゼンテーション能力を含めた総合力の向上を目指します。また、人口問題、地域活性化等、地域の抱える問題も取り上げ、広い視野から自らの業務を考え直す機会を提供します。

講座の特色

■ 大学ならではの「理論」と「現場」の融合

■ 土曜日の午後を開講

■ ネットワーク形成に資する異業種交流

講座概要・お申し込み方法

開講期間：10月24日(土)～12月19日(土) 13:30～18:00 全6日(土曜日開催)

場所：福井県立大学福井キャンパス 経済学部棟 E-207教室

企画コーディネーター：福井県立大学経済学部教授 北島 啓嗣 / 福井県立大学経済学部准教授 松下 元則

講師：福井県立大学教員、学外専門家および実務家など ※講座内容は、講師の都合で変更となる場合があります。

定員：25名程度(原則先着順) 受講料：29,600円

受講申込方法 受講希望の方は、受講申込書に必要事項を記入し、下記までお送り下さい(FAX可)。受講決定後に振込依頼書を送付しますので、これにより受講料を振り込んで下さい。

申込期間 9月18日(金)～10月16日(金)【必着】

申込先・お問い合わせ 福井県立大学 教育推進課 〒910-1195 福井県吉田郡永平寺町松岡兼定島4-1-1
TEL 0776-61-6000(内線 1021)担当/青木 FAX 0776-61-6012

Curriculum

▶ 1st キャリア・マネジメント —キャリアを中心に人材育成を考える—

10/24 講師 飛田 正之 (福井県立大学経済学部准教授)

競争力のある職場を作るには、従業員のスキルを高める必要がある。それにはキャリアをどのように組み立てるかがカギとなる。初期キャリア、中堅層のキャリア、さらにはトップ・マネジメントに至るまで、どのようにキャリアを組んでいくのか、企業事例を交え、学んでいくことにしたい。また、事業の構造、業務の内容に合わせた効率的なキャリアの作り方、さらにはキャリア形成に関する人事部門の役割についても考えていく。

▶ 2nd 「食」による地域活性化：バル街と世界料理学会の事例を中心に

10/31 講師 田村 昌弘 (世界料理学会 in HAKODATE 事務局長、函館西部地区バル街実行委員)
松下 元則 (福井県立大学経済学部准教授)

北海道函館市では、「よそ者・バカ者・若者」ではなく、地元の経験豊富な大人が、大企業や行政に頼らず、自らの知恵と既存の地域資源を使って、「食」による地域活性化を進めています。「函館西部地区バル街」と「世界料理学会 in HAKODATE」の事例を紹介しながら、「B級グルメ」とは異なる「食」の活かし方と、その背後の考え方を説明します。

▶ 3rd 単品経営の秘訣：八天堂とケズカフェ東京の単品経営の比較

11/7 講師 佐藤 善信 (関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科教授)

八天堂は100種類以上あったパンの種類を「くりーむパン」1種類に絞り込むことによって成功した。同様に、イタリアンレストランのケズカフェ東京も、コース料理のデザートの一つであったガトーショコラに絞り込むことによって成功を収めた。単品経営のメリットとデメリットは何か、そして単品経営で成功するための条件は何か。この講義ではこの2社のケースを比較することによって、これらの問題を考えてゆきたい。

▶ 4th 経済インフラの維持管理およびPFI(民活)の在り方について

11/28 講師 安間 匡明 (福井県立大学客員教授・(株)国際協力銀行 取締役 企画管理部門長)

新関西国際空港の運営を民間企業に委託する事業権売却が進められています。海外事例との比較をしながら、我が国のインフラ分野におけるPFI/PPPの活用意義および今後のあり方をお話します。

安衛法改正によるストレスチェック制度とメンタルヘルス施策

講師 廣川 進 (大正大学人間学部臨床心理学科教授)

労働安全衛生法が改正になってこの12月からストレスチェック制度が導入され50人以上の事業場では従業員にストレスチェックを実施することが義務づけられました。その解説と職場のメンタルヘルス施策についてお話します。

▶ 5th 人口減に悩む地方のための処方箋

12/5 —誘致企業の撤退と雇用維持・創出への新たな取組み—

講師 近藤 信一 (岩手県立大学大学院総合政策研究科講師)

地方経済の主役の一人が「誘致企業」である。その誘致企業の撤退は、人口減少に悩む地方に拍車をかけることになる。しかし、誘致企業の撤退に際して、地域の雇用の維持のためにEBOという手段で立ち上がった経営者について取り上げた先行研究は少ない。そこで本講座では、そのような事態に直面した4社の事例を取り上げ考察する。そして、地域の雇用維持の観点から、誘致企業の撤退という場面に直面した際の対応を参考とする。

マーケティング・ケースからの学び

講師 北島 啓嗣 (福井県立大学経済学部教授)

いくつかのケースを取り上げ、ケーススタディからマーケティングの意志決定について、ディスカッションをし、またプレゼンテーションをしていただきます。実際にどんな要素を考慮し、意志決定すべきかを学んでいきます。また福井県の企業について考えます。

▶ 6th 企業の倒産を予知する倒産指数

12/19 講師 上總 康行 (福井県立大学名誉教授) 木下 和久 (福井県立大学経済学部講師)

企業力指数とも呼ばれる倒産指数について解説するとともに、実際に計算し議論を行う。倒産指数は限られた資料や財務数値を利用する単純な式で計算ができる。企業の収益力などについて、信頼性を持つ評価を可能とする指数であり、この指数を考案した現代会計カンファランス代表(上總康行福井県立大学名誉教授)とともに講義を行う。

修了証授与式